

食品安全関係情報(11月16日～11月29日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

11月16日～11月29日収集件数 (前回 11月2日～11月15日)	国際機関 WHO・FAO等 (4/3件)	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他	
		米国 (7/14件)	カナダ (2/0件)	EU、EFSA (25/34件)	各国 (11/12件)	FSANZ等 (2/4件)	中国 (12/0件)	各国 (6/0件)	各国 (0/0件)	報道、論文等も含む (27/29件)	
化学物質 (40/28件)	化学物質・汚染物質 (9件)	0	0	2	0	1	0	2	1	0	3
	食品添加物 (7)	0	0	0	4	0	0	0	2	0	1
	農薬 (18)	0	4	0	12	1	0	0	1	0	0
	動物用医薬品 (5)	1	0	0	0	2	0	0	1	0	1
	器具・容器包装 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
微生物・プリオン・自然毒 (32/29件)	細菌 (7件)	0	2	0	0	3	0	0	0	0	2
	ウイルス (9)	0	0	0	2	1	0	4	0	0	2
	原虫・寄生虫 (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	プリオン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	植物性自然毒 (3)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	カビ毒(マイコトキシン) (2)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	動物性自然毒 (2)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他 (8)	2	0	0	1	0	0	1	0	0	4	
新食品等 (12/13件)	新食品 (2件)	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
	GMO (7)	1	0	0	3	1	0	0	0	0	2
	健康食品 (1)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	アレルギー (2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肥料・飼料等 (0/12件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (12/14件)	表示 (1件)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	放射性物質 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (11)	0	0	0	1	1	1	3	0	0	5
海外の食中毒 (0/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海外のリコール (0/0件)	化学物質 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	微生物 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異物混入等 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	表示違反 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(11月16日～11月29日収集分41件)のうち、主なものの紹介
(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・カナダ保健省(Health Canada)、アクリルアミドに関する Q&A を公表
- ・カナダ食品検査庁(CFIA)、食品中のヒ素検査の結果を公表

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・米国疾病管理予防センター(CDC)
 - ・鶏肉製品が原因とみられる多剤耐性 *Salmonella* Heidelberg による集団感染情報を更新
 - ・調理済みサラダが原因とみられる志賀毒素産生性大腸菌 O157:H7 による集団感染情報を更新
- ・米国食品医薬品庁(FDA)、珊瑚礁に生息する魚の一次加工業者向け最終ガイダンスを公表
- ・オランダ食品・消費者製品安全局(VWA)、食品中のメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)及び基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ(ESBL)産生菌の低減のための包括的対策に関する意見書を公表
- ・台湾衛生福利部食品薬物管理署、「アミグダリン」含有製品を喫食した市民がシアン化物中毒を起こした事例について説明
- ・ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)、穀物製品中の麦角アルカロイド類に関する FAQ を公表

【新食品等】

- ・フランス競争・消費・不正抑止総局(DGCCRF)、市場に出回っている食品の GMO 含有検査結果を公表

【その他】

- ・香港食物環境衛生署食物安全センター、一般向けの月刊ニュースレター「Food Safety Focus」2013年10月号を発行